

乳児期の顔面浸出症状に対し生後 4 か月から治療し 10 年間大きな再燃なく過ごした小児アトピーの経過 (10 歳女兒)

症例 ID : 001-10-YA3 | 記録日 : 2016 年 7 月 17 日

1. 診断・治療前経過

生後 2 か月から顔を中心に赤みと黄色い浸出液が出ました。近隣の医療機関でステロイド外用薬を処方され、塗ったり中止したりを繰り返しました。外出時に周囲から声をかけられることも多く、保護者は外出を控えるようになりました。生後 4 か月で松本医院を受診し、漢方入浴と外用処置を開始されました。ステロイドの使用期間は合計約 1 か月でした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	乳児期の顔面症状にステロイド外用薬を断続的に使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	合計約 1 か月です。
中止時期	生後 4 か月頃の松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に使用しました。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 2 か月	発症	顔を中心に赤みと黄色い浸出液が出ました。
生後 2～4 か月	来院前	ステロイド外用薬を塗ったり中止したりしました。
生後 4 か月	治療開始	松本医院を受診し、漢方入浴と外用処置を開始しました。
生後 7 か月頃	皮膚の変化	アトピー症状が時々出る程度となりました。
その後約 10 年	長期経過	大きな皮膚トラブルなく過ごしました。
10 歳時	再受診	夏のあせもで久しぶりに受診しましたが、乳児期の強い症状が分からないほど皮膚はきれいな状態でした。

4. ピーク時期

ピークは、生後 2～4 か月頃に顔全体が赤く腫れ、黄色い浸出液が続いていた時期です。

5. 困りごと

- 顔の赤みと浸出液が強く、症状の波が続きました。
- 外出先で周囲から声をかけられることが多く、外出を控えるようになりました。
- 保護者は皮膚状態の変化に不安を抱えていました。

6. 経過のまとめ

生後 4 か月で治療を開始し、生後 7 か月頃には時々症状が出る程度となりました。その後約 10 年間は大きな皮膚トラブルなく過ごし、10 歳時には乳児期の強い症状が分からないほど皮膚がきれいな状態でした。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。